

北大病院心エコー室で検査を受けた患者さんへ（臨床研究に関する情報）

北海道大学大学院 循環病態内科学では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、北大病院において、通常の診療で得られる診療記録や検査結果を分析することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。この研究に関して、研究の対象となることを望まれない場合やご不明の点がございましたら、下記「連絡先」へご連絡ください。

[研究課題名] 心エコー法による左室と右室の駆出血流時間速度積分値比を用いた大動脈弁逆流の重症度評価法の確立

[研究機関・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 岩野 弘幸（北海道大学病院循環器内科 助教）

[研究の目的]

社会の高齢化とともに、弁膜症の患者数は急増しており、今後、ますます増えることが予想されます。弁膜症（本研究では大動脈弁閉鎖不全症の患者さんを対象とします）の重症度や手術適応の評価には、心臓超音波（心エコー）検査が用いられます。しかし、未だに精度が高く簡便で、いろいろな成因の大動脈弁閉鎖不全症に対して使用できる評価法の確立は不十分であり、新たな手法の考案が望まれます。そこで、私たちは、心エコー検査による左室と右室の駆出血流の情報を用いて、いろいろな成因による大動脈弁逆流の重症度を評価する方法を考案しました。この方法により大動脈逆流の評価をより正確に行えるようになれば、治療介入の時期をより適切に決定できるようになり、弁膜症治療の質の向上につながると考えております。

[研究の方法]

●対象となる方

2014年4月から2022年3月までの間に、北海道大学病院で心エコー検査を受けた患者さんのうち、心臓MRI検査もしくは心臓カテーテル検査も受けた患者さん。

●利用するカルテ情報

1. 診療記録から、年齢、性別、身長、体重、診断名、病歴、家族歴、身体所見、血液生化学的検査結果、血漿中の脳性ナトリウム利尿ペプチド（BNP）濃度、N 末端プロ B 型ナトリウム利尿ペプチド（NT-proBNP）、臨床経過ならびに治療内容を調査させていただきます。

2. 入院中の心エコー検査記録から、一般的心エコー指標に関する情報、左室と右室の駆出血流の情報を調査させていただきます。また、心臓 MRI 検査あるいは心臓カテーテル検査記録を用いた調査を行います。

[研究実施期間]

病院長による実施許可日～2023年3月31日（登録締切日：2022年3月31日）

[個人情報の取り扱い]

本研究の実施にあたり、研究に利用する患者さんの情報に関しては、研究担当者が北海道大学病院内で診療記録や心エコー検査記録を収集した後、お名前、ご住所をはじめ、患者さんを特定できる情報を一切削除した上で管理し、研究を進めます。また、研究成果を学会や学術雑誌などに発表する予定ですが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[連絡先]

札幌市北区北15条西7丁目

北海道大学病院循環器内科 助教 岩野 弘幸（研究責任者）

電話：011-706-6973, FAX：011-706-7874